

挑戦

2 年学年だより

第 5 号

2020.8.7

長かった梅雨が明けて夏本番となりました。今年より教室にエアコンが入り、換気や除湿、冷えすぎに気を付けながら使用しています。通常の委員会活動が行われ学校に日常がもどってきました。部活動は、中体連主催の交流戦も無事に終わり、3年生から2年生に引き継ぎが行われていきました。学習面では、1学期の終わりに、主体的に学び合う姿を目指して授業に取り組めたかを振り返り、2学期につなげていければと考えています。2学期は延期していた自然教室や西麓祭などの行事に向けて準備が始まります。自分たちで行事をつくり上げていきましょう。

自然教室について

令和2年9月27日（日）～9月29日（火）の2泊3日で西湖の「浜の家」キャンプ場で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大で、3年生の修学旅行の実施、延期、中止を含めて、1泊2日を実施するか、日帰りの実施にするか現在検討中です。決定ししだいお知らせします。

また、行事説明会を、9月11日（金）に行います。よろしくお願いします。

生徒たちは、実行委員会を立ち上げて具体的な係などの組織をつくり、どのような自然教室にしていくか話し合いを行っています。

令和2年度 自然教室スローガン

～志高心強～

絆を深め、笑顔を絶やさず思い出残る自然教室！

間遠学習について

市役所の各課の方に中学校に来ていただいて、出前講座を実施しました。自分の課題を解決するために、市内のいろいろな場所に訪問して調べを進めることが出来なくなったので、できる範囲で学習を行いました。以下に生徒のお礼文（抜粋）を掲載します。



盛夏の候、お変わりなくお過ごしのことと思います。

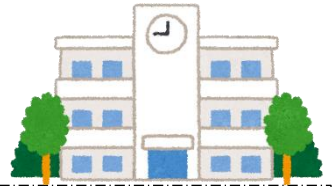
さて、先日は出前講座でたくさんの御講義をいただきありがとうございました。私は富士宮市の湧水スポットが4カ所あるということに驚きました。富士山の湧水は地下水が地表に自然にろ過されて出てきた水なので安全で、世界の湧水は地下の中で何年も経ってから流れ出た水なので、安全に飲み水が手に入る場合があると知って、これからの生活で水を大切にしていきたいと思いました。分かりやすい内容になるよう御配慮をいただきうれしく思います。～市役所 水と緑と花の課 様～

暑さ厳しい折から、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。私たちも元気に学校生活を送っております。

さて、先日はお忙しい中、出前講座を通して市の観光について詳しく教えていただきありがとうございました。学校での調べだけでは知ることができなかった県外や海外からの観光の注目点などを教えていただいて発表に向けて大きく調べが進みました。

～市役所 観光課 様～





1組担任 松本 理奈子（まつもと りなこ）先生

7月8日 ― 自己を見つめる ― 「自分ってなんだろう」

グループになって、自分以外の友達の良さを付箋に書き、言葉のプレゼントを交換しました。
また、ブッタとシッタカブッタの4コマ漫画を題材に、「本当の自分とうその自分」など、普段は考えない「自分とはなにか」についてじっくり考えることができました。
「家ででの自分と学校での自分は違うと思う？」という質問には、半分以上の人が手を挙げていました！
私たちは誰も、「ありのままの自分」と「見てもらいたい自分」の、二人の自分を持って生きているのかもしれない。自分の良さを見つけ、ありのままの自分を好きになれたらいいな…と私も思いました。



《生徒の感想より》

- ✿家での自分は不安から逃げようとしてしまう。自分の良さに気付くことで、もっと気楽に過ごせるように変われそう。（嵩太さん）
- ✿違う自分でいなくても大丈夫だと分かった。（杏さん）
- ✿ありのままの自分と、見てもらいたい自分の「二人の自分」をもって生きていることが分かった。（潤也さん）

2組担任 金山 泰輔（かなやま たいすけ）先生

6月22日 ― 規則の役割 ― 「美しい鳥取砂丘」

国の天然記念物に指定されている鳥取砂丘の落書き問題を題材に、規則の必要性やどんな規則ならばみんなが守るのかを考え、話し合いました。クラスという小さな社会の中にもルールはたくさんあります。みんなが安心して楽しく過ごすために、年度当初にみんなで話し合いました。自分たちで決めたルールです、しっかり守りましょう！以下は、話し合いで出た生徒の意見です。



☆落書きをなくすにはどんな規則が必要か？（班ごとの意見）

- 逆に落書きしていい場所を作る。 ○警備員を巡回させる。
- 落書きした人の家に落書きをする。 ○その場に正座させる。

☆なぜ「規則」は守らなければならないのだろう。

- 他人に迷惑がかかるから（鈴木大葵さん）
- そこにいる人々がみんな公平に生きるため。（大川颯斗さん）
- 規則は自分のためでなく、まわりの人に関係するから。（澤井千乃さん）

